

# 山本助産院だより

2015. 12

236-0031

横浜市金沢区六浦 2-14-12

TEL 045-788-6601

http://yamamotojyosanin.com



お知らせ

◆藤田伸二医師による乳児健診が助産院地下であります。  
1月14日(木)①13時~②14時~  
15時から藤田先生を囲んでのQ&Aのコーナーがあります。  
料金は3000円(横浜市補助券の対象です。)  
予約は、助産院まで。お待ちしております!

## \* 詩子のつぶやき \* vol.49

10年ほど前、広島市の平和記念資料館を訪れた折に戦時中の防空壕の中で、傷ついた身体のままお産の介助をした産婆の様子が詩になり、吉永小百合さんが朗読しているCDを聞きました。産婆の時代より延々と女性たちを支え励ましながらお産の傍らには、いつも助産師の姿がありました。産婆が命を懸けてつないだ小さな命 その時に誕生した赤ん坊は現在お元気で70歳を迎えました。

『生まれめんな』栗原貞子・詩 原爆詩  
こわれたビルディングの地下室の夜だった。

原子爆弾の負傷者たちは  
ローソク1本ない暗い地下室を  
うずめて、いっぱいだった。  
生ぐさい血の匂い、死臭。  
汗くさい人いきれ、うめきごえ  
その中から不思議な声が聞こえて来た。  
「赤ん坊が生まれる」と言うのだ。  
この地獄の底のような地下室で  
今、若い女が産気づいているのだ。

マッチ1本ないくらがりて  
どうしたらいいのだろう  
人々は自分の痛みを忘れて気づかった。  
と、「私が産婆です。私が生まれませしょう」と  
言ったのは

さっきまでうめいていた重傷者だ。  
かくてくらがりの地獄の底で  
新しい生命は生まれた。  
かくてあかつきを持たず産婆は血まみれのまま死んだ。  
生まれめんな  
生まれめんな  
己が命捨つとも  
※詩の中の地下室は広島市千田町の旧郵便局の地下室  
(実体験での詩)



世界中の子供たちが、平和で安穏の中で暮らしていけますように。  
赤ちゃんが誕生するたびに思います。  
安心してお産できる空間、心も体も大切にされて、女性の尊厳が守られたお産。  
全ての女性たちに助産師のケアが届きますように。

日本助産師会は、吉永小百合さんが産婆役で主演の映画「母と暮らせば」を応援しています。産婆姿の小百合さんをぜひ観てください♪

## ☆あいいいクリスマス会☆

12月3日六浦地区センターにて760名を超えるママと子どもたちが集まりました。美しい音楽に手遊び、ゲーム、藤田麻里さんによるエクササイズで会場が暖まりました♪恒例の持ち寄りランチは今年も超豪華!おしゃべりも盛り上がり、おいしく楽しい時間でした。後半の目玉はお椀ダンス@助産師スタッフ。初めて観た方びっくりだったのではないのでしょうか?今年来られなかった方、来年はぜひ一緒に楽しみましょう!



## 実習生の紹介

こんにちは!  
8月から実習をさせて頂いています、助産師学生の米澤と申します。

先日、妊娠中から関わらせて頂いていた方のお産に立ち合わせて頂きました。妊娠中からたくさんの教室に参加したり、食事管理や運動を頑張り、赤ちゃんにたくさんの愛情を注いでいた姿を見ていたので、お産の時の感動はとて大きかったです。お産のときは最後まで赤ちゃんと対話しながら、旦那さんと一緒に過ごす姿がとても素敵でした。また、身体の変化に気づいたり、痛みの中でも穏やかに過ごす姿、「あの痛みも心地よかった」と振り返っていたことがとても印象的で、産婦さん自身の産む力をとても感じました。これから助産師となる中でかけがえのない学びをさせて頂きました。ありがとうございます。

神奈川県立衛生看護専門学校 助産師学科  
米澤歩美

## リレー随筆~ママたちの文化祭 2015 スタッフより

坂本理代

ママたちの文化祭 実行委員長!  
沢山のスタッフを取りまとめて  
くれました

こんにちは!二児の母親、坂本 理代と申します。

助産院は、安産だった!以外に、私にとっては色々なママたちとの出逢いの場でもあります。

一つの出逢いは、金沢文庫芸術祭の一環で去年から開催されている「ママたちの文化祭」のお手伝いをしたことです。去年は下の子を妊娠中、今回は二人の息子たちを連れての参加でした。文化祭は「これをやりたい、できる」など意見を出しあって形にしていきます。その中でママたちは、育児が大変だから出来ない、やらないのではなく育児も一緒に楽しんでいる「自分の出来ることを自分らしく、楽しみながらやる」パワーがとても印象的でした。

その出逢いがきっかけで私の育児観に変化が起こり、できないことに目を向けるのではなく、自分らしい育児を楽しみながら「やりたいことはやっていこう」「今しかできないことが沢山ある」と思うようになりました。そうすると、パーっと世界が変わってくるのです!

ホントに助産院での出逢いに感謝!そして沢山の経験、繋がりを作ってくれている子どもたちに感謝!ありがとうございますを伝えたいです。

最後に宣伝です。朝比奈地区で「あさひな一ゼ」という育児サークルをここで出逢った渡邊安紀子さん、スリング教室の市川さん(偶然にもご近所さん)と立ち上げました!「ママの笑顔は、子どもの笑顔」を大切に、楽しいことをシェアしているサークルです!メンバー募集中。FB「あさひな一ゼ」で検索してね!